

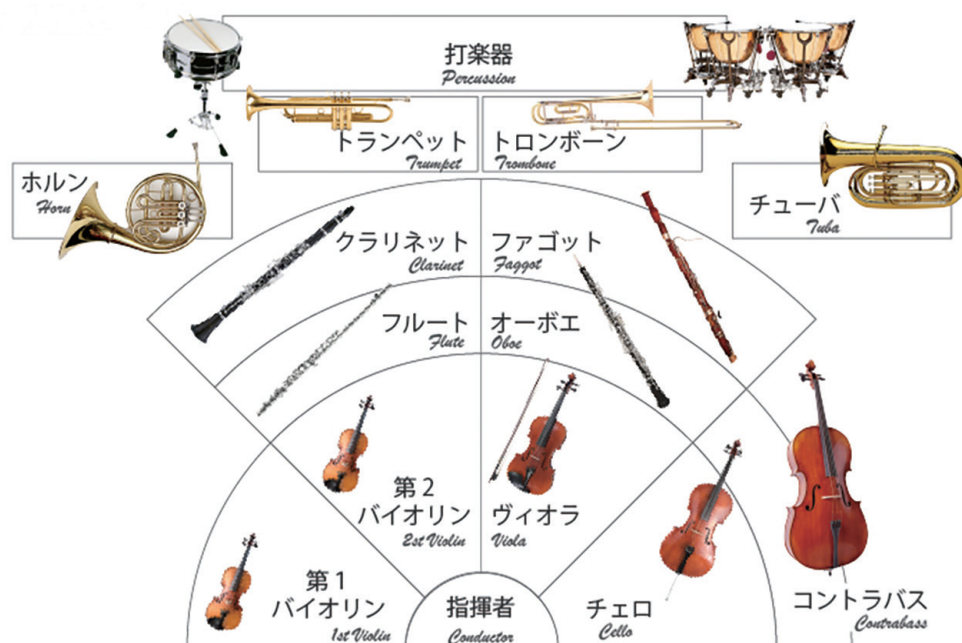
INSTRUMENT

PURCHASE SEMINAR

買取専門店 大吉 様

楽器買取セミナー

オーケストラで使う楽器編



アプレ楽器

楽器買取セミナー

オーケストラで使う楽器編

目次

table of contents

第1章：オーケストラで使われる楽器とは

第2章：弦楽器

第3章：木管楽器

第4章：金管楽器

第1章 オーケストラで使われる楽器とは

オーケストラで使われる楽器は主に以下の分類から構成されており、オーケストラの規模やジャンルによって用いられる楽器は様々です。

弦楽器

木管楽器

金管楽器

打楽器

その他



オーケストラ楽器配置図

Orchestra Seating Chart



第2章 弦楽器

オーケストラでよく使われる弦楽器は以下の4つです。
査定時のポイントや確認事項はどれも共通となります。

バイオリン

ヴィオラ

チェロ

コントラバス



バイオリン



ヴィオラ



チェロ



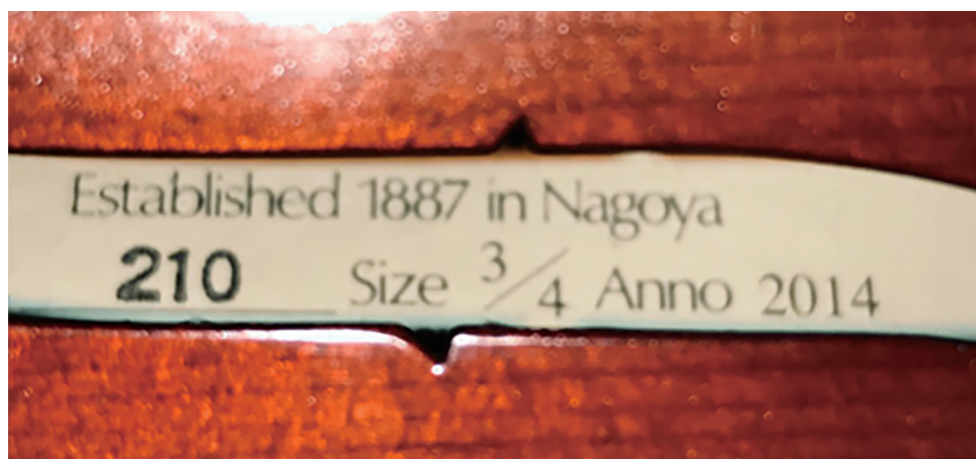
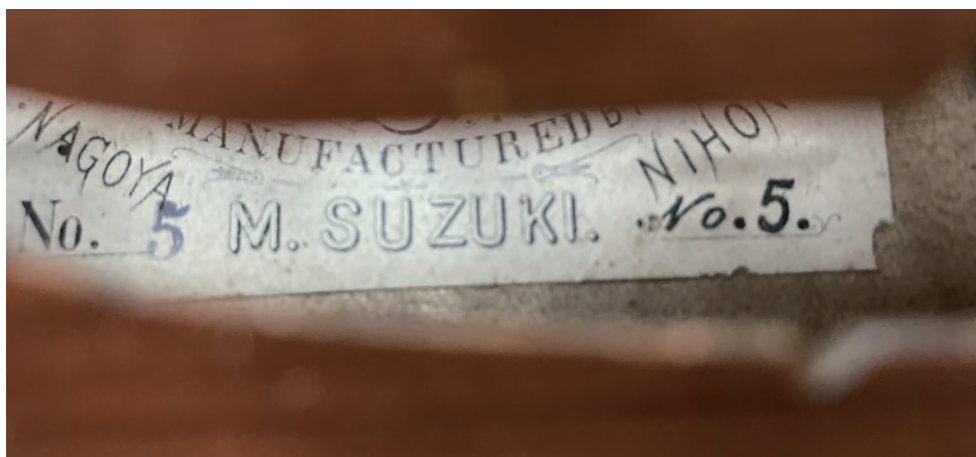
コントラバス

第2章 弦楽器

バイオリン

1 バイオリンのモデル・メーカーの判別

本体正面のf字孔（fホール）の中を覗き、ラベルを確認してください。
ラベルには【メーカー】【型番】【年式】【サイズ】が記載されています。



2 魂柱（こんちゅう）

正面右側のf字孔から「魂柱」が倒れていないかを目視で確認してください。
倒れていたり、なくなっていたりすると「ジャンク品扱い」になります。



3 パーツの有無

・糸巻き（ペグ）

本体上部に4つ付いています。

弦が張られていないとすぐに取りれてしまいます。



・駒（ブリッジ）

弦が緩んだ状態だと非常に無くなりやすいパーツです。

外してケース内で保管している場合もあります。

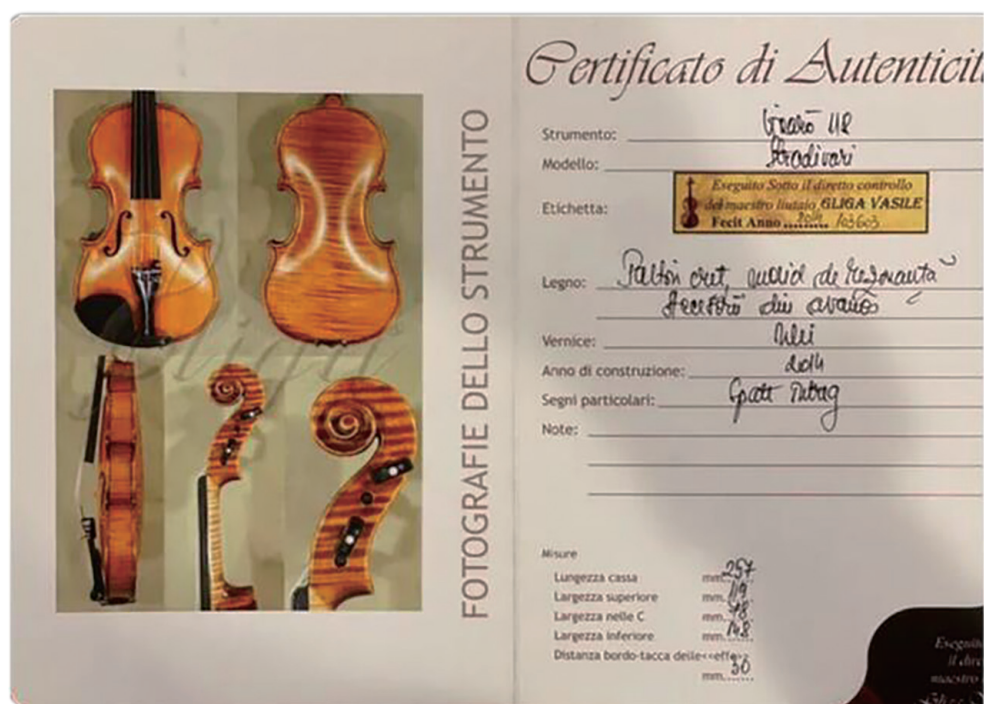
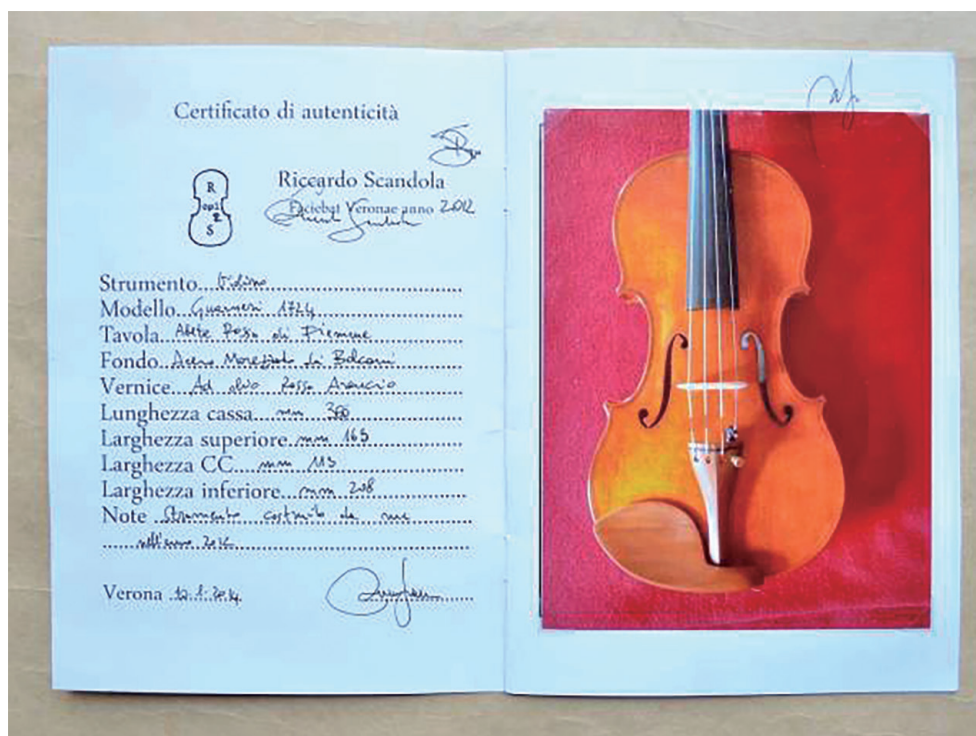


第2章 弦楽器

バイオリン

4 製造者（製作者）と製作証明書

弦楽器の業界はメーカー以外に個人工房での製作が多く、製作証明書の有無で価値が大きく変わってきます。



5 バイオリンの市場価格

査定で出てくる一般的なバイオリンの平均単価は、数千円～2万円程度です。購入金額からのギャップが大きく、購入時の1/10以下の価格になりやすい商品です。



第3章 木管楽器

オーケストラでよく使われる木管楽器は主に以下の5つです。

査定時のポイントや確認事項はそれぞれ異なるので注意してください。

フルート

オーボエ

ファゴット

クラリネット

サックス



1 クラリネットのモデル・メーカーの判別

管体のいずれかに刻印されています。

刻印箇所には【メーカー】【型番】【シリアル】などが記載されています。

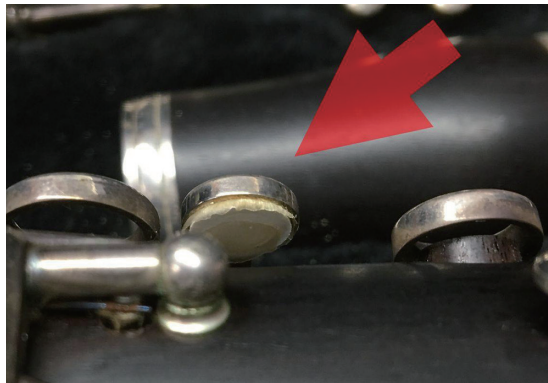
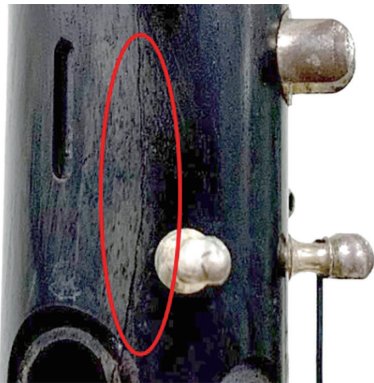


2 クラリネット査定時のポイント

・傷、割れ、ヒビ、カビ

木部は経年劣化で割れやヒビが、コルク部は剥がれている場合もあります。

コルクやタンポはカビが生えやすいので必ず確認してください。



・マウスピース

有無の確認と、複数個所持している場合もあります。



3 クラリネットの市場価格

査定で出てくる一般的なクラリネットの平均単価は2万円～4万円程度です。数千円のこともありますが、10万円を超えることも多々あります。

1 オーボエのモデル・メーカーの判別

管体のいずれかに刻印されています。

刻印箇所には【メーカー】【型番】【シリアル】などが記載されています。



2 オーボエ査定時のポイント

・傷、割れ、ヒビ、カビ

木部は経年劣化で割れやヒビが、コルク部は剥がれている場合もあります。

コルクやタンポはカビが生えやすいので必ず確認してください。

・マウスピース

マウスピースを使用しないので付属はございません。



3 オーボエの市場価格

査定で出てくる一般的なオーボエの平均単価は 10 万円～ 30 万円程度です。数は多く出てきませんが高単価商品ですので、クラリネットと間違えないようにご注意ください。

第4章 金管楽器

オーケストラでよく使われる金管楽器は主に以下の5つです。

査定時のポイントや確認事項はそれぞれ異なるので注意してください。

トランペット

トロンボーン

ホルン

チューバ

ユーフォニアム
(ユーフォニウム)



第4章 金管楽器

ユーフォニアム
(ユーフォニウム)

1 ユーフォニアムのモデル・メーカーの判別

刻印は管体の主にベル・吹き口・ピストン付近に刻印されています。
刻印箇所には【メーカー】【型番】【シリアル】などが記載されています。



2 ユーフォニアム査定時のポイント

・傷、凹み、錆、黒ずみ

特に凹みはよく見られるので、管体を細かく確認することが大切です。



・ピストン

固着している場合が多いので、必ず全箇所押して確認してください。



3 ユーフォニアムの市場価格

査定で出てくる一般的なオーボエの平均単価は 5 万円以下、10 ～ 15 万円、30 ～ 40 万円の 3 パターンが多いです。

決して 5 万円以下が多いわけではなく、どれも同程度に可能性があります。

1 ホルンのモデル・メーカーの判別

刻印は管体の主にベルの根本・吹き口・ロータリー付近に刻印されています。
刻印箇所には【メーカー】【型番】【シリアル】などが記載されています。



2 ホルン査定時のポイント

- ・傷、凹み、錆、黒ずみ

特に凹みはよく見られるので、管体を細かく確認することが大切です。



- ・ロータリー

固着している場合が多いので、必ず全箇所押して確認してください。



3 ホルンの市場価格

査定で出てくる一般的なオーボエの平均単価は10～20万円程が多いですが、数万円の物や、50万以上の物も出てきます。